

「上田市オープンドアスクール設置検討会議」の会議結果について

1 概要

オープンドアスクールは、令和6年12月16日に開催された全員協議会において設置検討に着手することを報告し、定例教育委員会、総合教育会議などで設置に向けた検討を行ってきました。また、4月には「上田市オープンドアスクール設置検討会議」を設置し、設置の可否などを検討してきました。

4回にわたり開催した検討会議では、検討会議の総意として「上田市オープンドアスクール（仮称）を設置することが望ましい」との決定をいただき、オープンドアスクールを設置際のコンセプト、基本方針、構想についても提案をいただきましたので、検討会議の結果を以下のとおり報告します。

2 信州オープンドアスクールの概要

多様なニーズを包括したインクルーシブでフレキシブルな学校

不登校の子どもたち

外国籍または外国由来の方

学齢経過者(形式卒業者)

いつでも自分のペースで学べる

～学びの多様化学校と夜間中学の併設による昼間部・夜間部の開設～

【学びの多様化学校】

- ・授業時数の低減(770時間程度まで)
- ・複数教科を統合した特色ある教科の新設(合科)や組み換え
- ・習熟度別に、個別の学習スピードやそれぞれの状況に寄り添った支援

どちらで学ぶことも可能



一体的に運営

【夜間中学】

- ・通常の中学と同じ9教科の学習(700時間程度)
- ・充実した日本語指導
- ・個々の状況により修業年限はさまざま
- ・中学卒業資格が得られる

<信州オープンドアスクールの特徴>

- ・不登校の子どもたちが夜間部に登校し、共に学び合う
- ・夜間中学に通う方が昼間部に登校し、共に学び合う

多様な方が集い、共に学び、
共に成長できる場となり得る

<教職員配置>

分校型：学びの多様化学校2学級
夜間中学1学級 全3学級の場合

校長	教頭	担任	専科	加配	計
本校と兼務	1名	3名	4名	1名	9名
さらに県独自の教職員の加配を検討					

学校設置者が、地域の実情やニーズに応じて創意工夫することにより、
「信州オープンドアスクール」が県内に複数設置されることを目指す

※ 長野県主催「信州オープンドアスクール」創造会議資料から

3 オープンドアスクールを設置する際の設置形態

- (1) 本校型 他の中学校から独立した新たな中学校として設置
- (2) 分校型 本校となる中学校の分校として設置
- (3) 分教室型 本校となる中学校の一部の学級を学びの多様化学校と夜間中学の学級として設置

4 「上田市オープンドアスクール設置検討会議」について

- (1) 設置目的 年齢、国籍、社会的立場などに関係なく、誰にでも開かれ、多様な人たちが共に学び、共に成長する、インクルーシブでフレキシブルな学びの場であるオープンドアスクールの設置について検討するため、検討会議を設置。
- (2) 会議事項
 - ア 決定いただいた事項
 - ・「上田市オープンドアスクール」（仮称）を設置することが望ましい
 - イ 提案いただいた事項
 - ・「出会い、向き合う、つながりの場所」などのコンセプト
 - ・「多様な学びの循環を創る」などの基本方針
 - ・「上田市立中学校の分校型として設置する」などとした構想
- (3) 「上田市オープンドアスクール」（仮称）のコンセプトと基本方針
 - ア コンセプト 3 ページのとおり
 - イ 基本方針 4 ページのとおり
- (4) 「上田市オープンドアスクール」（仮称）の構想
 - 5 ページのとおり

「上田市オープンドアスクール」（仮称）のコンセプトと基本方針について

1 コンセプト 「出会い、向き合う、つながりの場所」

「出会い、向き合う、つながりの場所」

ここは、すべての人の「学びたい」をかなえる場所。

ここでは、自分の心に触れながら自分の思いを形にすること、自分のペースで自分らしく学ぶことが大切にされます。ありのままの自分と向き合うことで、自分らしさが育まれていきます。

ここでは、「正解」を探すのではなく、「問い」を育てることが大切にされます。その「問い」は、自分自身との対話であり、他者との対話であり、社会との対話です。

ここでは、年齢も性別も国籍も立場もこえた「つながり」が生まれます。「わたし」と向き合い、「あなた」を受け止めることで、「わたしたち」の地域が育てられていきます。「ちがひ」が「つながり」という力になり、その先に、新しい世界が広がっていきます。

社会とつながり、変わっていく自分と出会う。

新しい自分と出会い、社会が広がる。

ここは、自分と社会が出会い、違いを響き合わせ、認め合う学びの場所。

上田市は、一人ひとりの自分らしさを大切にしながら、安心して学ぶことができる、「出会い、向き合う、つながりの場所」として、オープンドアスクールを設置します。

2 基本方針 「多様な学びの循環を創る」

(1) 一人ひとりの主体性を支える

●「安心」と共にある場づくり

・安心できる場所、ゆとりある時間、心がほぐれる関係性の中で、思いや気持ち、考えを認め合うことで、自分らしく学んでいくことのできる場づくりを進めていきます。

●「自分らしさ」と共にある場づくり

・多様な価値観との出会いを通じて、自分にとって大切なことと向き合うことで、思いを形にしていくことのできる場づくりを進めていきます。

(2) 一人ひとりの社会性がつながる

●「ちがい」と共にある場づくり

・年齢、性別、国籍、立場をこえて共に学ぶことで、多様性に対する理解を深めていく場づくりを進めていきます。

●「つながり」と共にある場づくり

・地域との交流を通じて、自分と社会のつながりを実感することで、社会的な自立を支えていく場づくりを進めていきます。

「上田市オーブンドアスクール」（仮称）の構想

1 設置形態

学校の設置形態として、「本校型」、「分校型」、「分教室型」の3つが想定されますが、早期の設置や一人ひとりに寄り添った学校の実現を目指すために「分校型」が望ましいと考えている。

2 設置場所

- （1）公共交通の利便性が高く、アクセスしやすい場所とする。
- （2）本校となる中学校の近隣に設置する。また、運動場（体育館）の使用を見越し、小学校にも近い場所とする。

3 大切にする視点

- （1）一人ひとりの「学びたい」、「学び直したい」という思いに寄り添うために、少人数での学びにも対応できるような支援を行う。
- （2）夜間中学においては、必要に応じて日本語等の学習機会も保障していく。
- （3）学びの多様化学校と夜間中学の交流を図るため、学校行事のほか、「交流の時間」等を設けるなど、多世代交流や多文化交流を図っていく。
- （4）スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー等を配置することで、相談しやすい環境を整備し、安心して過ごすことができるようにする。
- （5）多様な団体・機関・地域等と連携・協働することで、互いに学び合い認め合えるような学校づくりを進める。